

開会の辞

日本大学経済学部長 小 椰 治 宣



ただ今ご紹介いただきました経済学部長の小椰です。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。
とうございます。

今回のシンポジウムは産業経営研究所 60 周年を記念して開催されたものです。昭和 29 年にこの研究所の前身となる税法研究所というかたちでスタートし、昭和 52 年に、名称を現在の産業経営研究所に改めまして、本日 60 周年を迎える運びとなりました。産業経営研究所に改めました時の初代の研究所長は、本日お見えになっている菊池敏夫先生だったと記憶しております。

さて、日本大学は今年で創設 125 周年になります。経済学部はそれから 15 年後にできましたので、110 年ということになり、この研究所はその 110 年の中の 60 年の歴史を持っているわけです。すでに還暦で、私よりも長く存在している、非常に伝統のある研究所です。

その記念すべきシンポジウムで、時宜にかなった「エネルギー問題」をテーマに、多方面からこの問題を議論していただくことになっておりますので、どんな議論が展開されるか私も楽しみにしているところです。

そしてまたこれが、次の 70 周年、100 周年に向けての第一歩となりますので、本日のシンポジウムの成果、そこで議論されたさまざまなことが次世代の産業経営研究所の成果につながっていくはずです。またそれは日本大学経済学部の未来へもつながっていくという非常に重要なシンポジウムになると確信しています。

講師として来ていただいた先生方も、お忙しい中、本当にありがとうございます。そしてこのシンポジウムを成功させるためご尽力いただいた研究所の皆さん、教職員の皆さん、本当にありがとうございました。

これから行なわれます講演、そしてその後のさまざまな議論が充実したものとなることを祈念して、私のあいさつに代えさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。